

令和7年度

障害者支援施設等デジタル技術等活用支援事業
成果報告書



社会福祉法人南風会

シャロームみなみ風

施設紹介



「シャロームみなみ風」は社会福祉法人南風会が2015年に開所した、東京都新宿区にある知的障害者支援に特化した多機能型入所施設です。

主要幹線道路の「外苑東通り」に面し、カフェレストランを併設しています。

利用者は入所、通所あわせ約75名、職員は1日平均40名ほどの体制となっています。

地域の生活支援拠点として福祉避難所としての機能も持ち、最新の設備と半世紀にわたる障害者支援のノウハウを活かして日々福祉サービスの提供にあたっています。

▼ シャロームみなみ風全景



▲ カフェレストラン
おんぶらーじゅ

・ 施設構造上の特性と情報共有ツール



- ・ 施設は6つのユニットと地下のカフェから構成され、非常にコンパクトかつ凝縮された機能を持つ反面、その構造上多くの死角が存在します。
- ・ そのため各職員は持ち場を離れなくて済むようにPHSを用いて他職員と連絡を取り合っていました。
- ・ また、PHSはナースコール受信機能や館内一斉放送の機能も兼ねており、情報共有のための重要な支援ツールとして活用されてきました。



導入経緯①

開所から10年が経過し、耐久年数を越えたPHSが増えてきました。

各ユニットにまんべんなく配置していたPHSが徐々に減ってゆき、早急な修理・交換が必要な機運が年々高まっていました。

しかし使用しているPHSは多機能型で1台8万円強の費用が掛かり、故障したPHSを交換するだけで数百万の予算が必要な状況でした。

すると、
「そこまでの費用を掛けるのであれば、いっそスマートフォンに切り替えて**機能の拡張**を図り、**業務の効率化を目指す**ことでむしろ**経費の削減**や現在抱えている**課題を解消**できるのではないか」という意見があがってくるようになりました。



導入経緯②

この活動は法人全体のプロジェクトとして始動することとなりました。

名称 ICTプロジェクト

障害者支援施設等デジタル技術等活用支援事業を活用し、
業務の効率化を以って施設の持つ課題解決を目指すこととなりました。

活動内容

- ・ PHSからスマートフォンへの転換
- ・ それを実現させるために必要な付帯工事の検証
- ・ それらによる業務効率化の検討
- ・ 支援サービス向上につながる機能などの検討



人材不足に伴う課題解消へ





期待される効果

(利用者の高齢化、体力低下を念頭に)
労働人口の減少等により常勤職員の採用が一層困難となることをふまえ、
「未経験の中高年労働者」や「外国人労働者」などの雇用増を見据え、
業務のデジタル化により無駄を省き作業を効率化し、標準化を図ることで
新たな構成による人員体制づくりを推進する

(これまで)
多くの経験ある常勤を
少数の非常勤が補佐する

変化

(これから)
少数の経験ある常勤が多数の経験
の少ない非常勤・中高年・外国人労働者
を使役する

- ◎ いかにより少ない人数でサービスを維持するか？
- ◎ いかにより未経験者を即戦力化するか？
- ◎ 効率の悪い部分をいかにより効率化するか？



そのためのICT化

導入までのスケジュール



- ① プロジェクト始動 令和7年01月 メンバー選出
 - ② 情報収集 令和7年02月 社内アンケート&福祉機器展等での情報収集
 - ③ 事業内容検討 令和7年03月 各自がもちよった情報から実施内容検討
 - ④ 複数事業者によるプロポーザル実施 令和7年05月
 - ⑤ 理事会へ提案 令和7年6月 理事会へのプレゼン、業者選定
 - ⑥ 補助金交付申請 令和7年6月
-
- メンバーは「重心障害者フロア担当支援員」「行動障害フロア担当支援員」「就労支援フロア担当支援員」および連絡窓口係として事務職員が選ばれました。
 - 福祉機器展では各担当が各フロアの持つ様々な課題解決に向け、最新の福祉機器に触れ単なるPHSからスマートフォンへの転換ではなく広く自由な視点から導入内容を検討しました。
 - 各メンバーからの情報、希望、意見をすりあわせ、プロジェクトとしての方向性をまとめた内容で複数事業者へ広く提案を呼び掛け、3社によるプレゼンテーション(コンペ)を実施しました。
 - コンペ内容を理事会で最終審議し、実施プランが決定しました。

導入後のスケジュール

① 交付決定	令和7年10月
② 館内工事	令和7年11月17日(月)～21日(金)
③ 備品納品	令和7年11月(ベッドセンサー、トイレセンサー)
④ 備品納品	令和7年12月頃(iPhone)
⑤ 運用周知	令和7年12月 (センサー、iPhoneの使い方等)
⑥ 本格運用	令和8年1月1日

- ベッドセンサー、トイレセンサーのレクチャーは重心担当支援員より行いました。
- iPhoneの基本操作方法については事務担当が準備しました。
(androidしか知らない職員もいるためiPhoneの基本的操作もレクチャーする必要あり)
- このほか、本格運用までにスマホ使用ルール(諸注意/自宅持ち帰り禁止等)を定めておく必要があるため内容は事務でたたき台を作りプロジェクト内で意見交換しました。
- 現時点での運用内容を以下ページにまとめました。





導入内容

- iPhoneSE3 60台
- 館内WIFI設備の強靱化
- ベッドセンサー 24台
- トイレセンサー 3台
- 福祉事業者向け情報共有アプリ導入

投入予算

約1,696万円

(うち都補助金1,248万円) ※予定



全館の無線環境 を改善します



※ 朝、夕の記録入力時など職員が
一斉に同時接続してもつながりに
くくなりません。



※ 地下階にプリンタなどを
設置することも可能になります
→ 厨房・就労職員の動線改善
※ 今後導入を検討

Wifi



※ 地下階から4階まで
アクセスポイントの数を
倍増させて無線環境
を改善します



×約2倍



※ 今後更に利用が増えるで
あろうキャッシュレス決済
通信時などの通信トラブル
を防ぎます

PHSを廃止しiPhone を活用していきます

※ SIMありはそれぞれ固定の電話番号が振られるので直接外線を受けられます

例1：お客様から直接カフェへお弁当注文・席予約の電話が可能になります

例2：嘱託医・薬局から直接看護師へ直接電話でのやりとりが可能になります

例3：食材業者から直接厨房への発注内容確認などの電話が可能になります

例4：他福祉事業者や契約中の利用者から直接相談支援専門員への電話が可能になります

※ 管理役職者は自宅へ持ち帰ることも想定しています。



SIMあり
外線発着信可

10台 ※固定配置

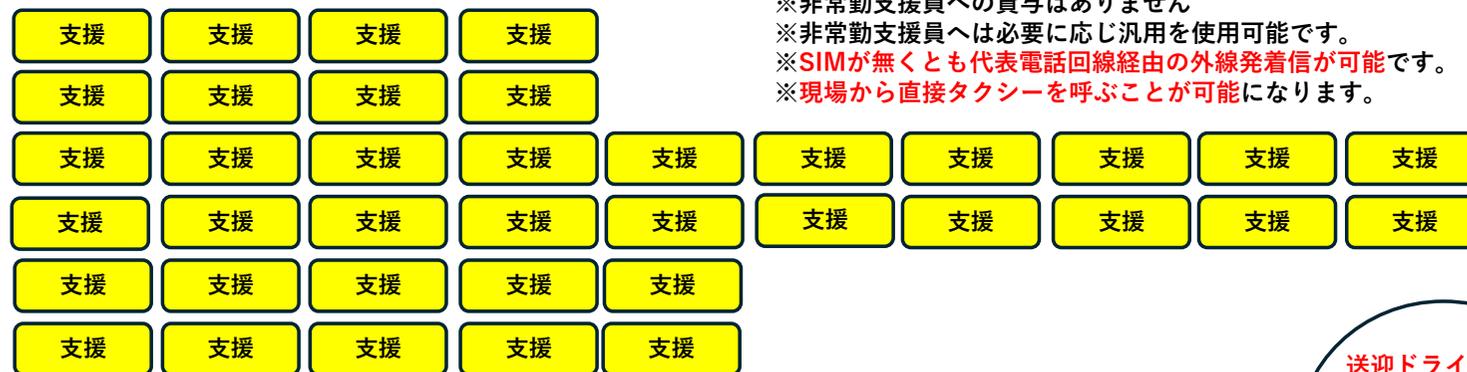


※ 日中は宿直用を予備/汎用として活用



SIMなし
入所/生介支援員

38台



※ 一人一台貸与します

※ 非常勤支援員への貸与はありません

※ 非常勤支援員へは必要に応じ汎用を使用可能です。

※ SIMが無くとも代表電話回線経由の外線発着信が可能です。

※ 現場から直接タクシーを呼ぶことが可能になります。



SIMなし
その他職員

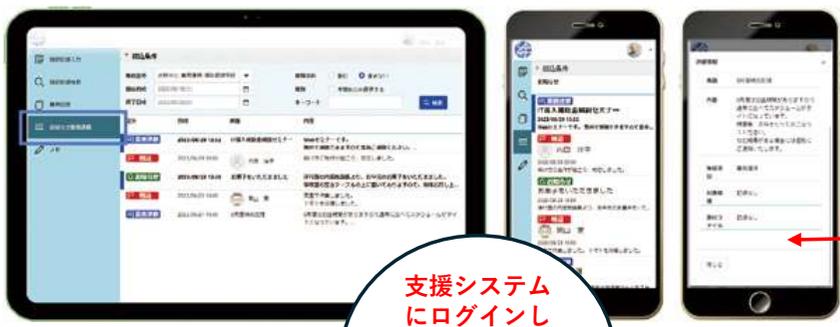
12台



送迎ドライバー、
清掃等の非常勤、
事務員、調理員
がiPhoneを
持つことは想定
していません。

出退勤





※導入済

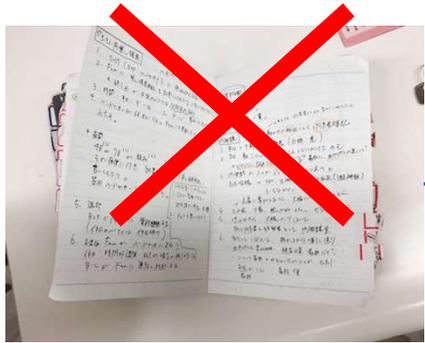
支援システム
にログインし
てお知らせ/
業務連絡/特記
をスムーズに
確認。



遅い、重い、
つながらない、
順番待ち...



【これまで】
パソコン起動→
ログインID入力→
支援システム起動→
→お知らせ、特記他を確認



【これまで】
紙のメモ、紙のノート、ふせんで
申し送り→連絡帳を探す 読めない字も？
昔の申し送りは探せない...

情報共有アプリ
にログインして
自グループの
申し送りを確認。
※チャット機能



現場へ

現場運用例①



音声でも
入力可能

ケース
記録
入力&
確認

ナース
コール
対応

私物スマホで
撮影→PC取
込→消去…の
手順が不要と
なります。

ケガや痣、
特異行動の
写真や動画
を即時共有/
自動保存

迷ったら
その場で
マニュアルを確認

全館
放送

事務に放送
依頼する
必要なし

「どこにも
いない」は
もう終わり

内線
連絡

外線
発着信
可能

代表電話番号で
家族・関係者へ発信可能

紙の連絡帳は
不要、過去の
検索も容易。

グループ
チャット活用
※グループ内
職員連絡帳

病院・薬局
から直接
看護師へ

事務の
取次不要

お客様から
直接お弁当
注文受付



現場運用例②



現場から
ZOOMで
会議参加

会議欠席
者は後日
ZOOMで
視聴可能

会議・研修参加が
容易になります



生活用品や
Amazon商
品その場で
カートへIN



事務で
発注



献立を
確認



行事や地
域交流SP
のカレン
ダー確認



iPhone
から直接
印刷可能



個人メール
のある管理
職は現場で
メール確認



書類を
スキャン
して記録
に添付

【対応の迅速化】
これまでスタッフ
室に戻りPC操作し
なければできな
かったことが現場
で対応可能に。

外部での 運用例



※SIMあり以外は
要wifiなので別途
モバイルwifi等を導入
要

※SIMありiPhoneでの
デザリングでも可能



旅行行事
外出行事
先から支
援記録入
力可能



出張先で
も情報を
確認可能

外部販売、
採用イベ
ントでも
活躍

一部は
SIMあり
を導入



通院先
その場
で記録
入力



在宅ワーク
の幅も拡が
ります



施設で
即情報
共有



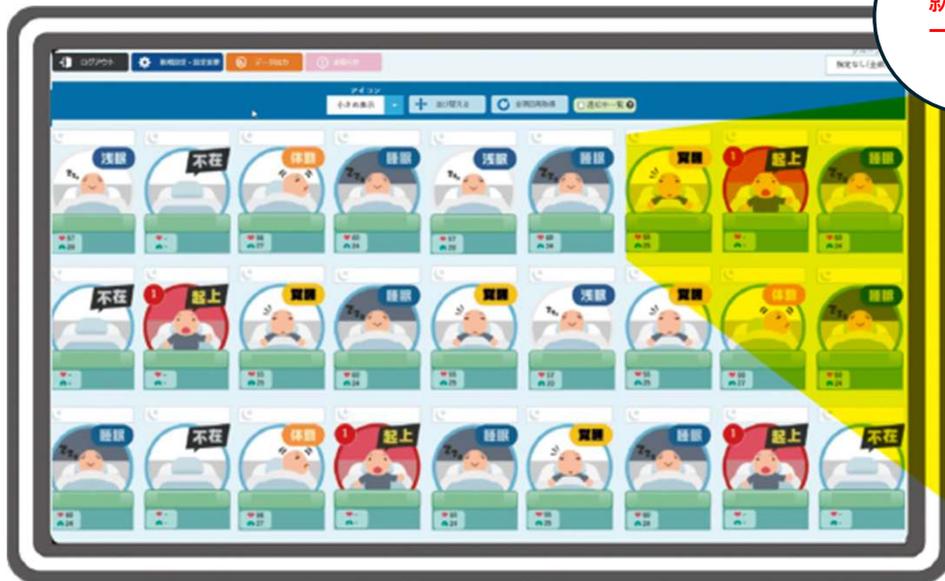
夜間運用例



深夜巡回頻度を減らすことが期待できます。また、睡眠状況などをデータとして残すことができます。

夜勤者のiPhoneからも確認可能

※ 重身居室にセンサーマットを配置し、夜間はモニター一括管理を行います。



一覧表示画面

就寝状況一括確認



夜間、代表電話に掛かってきた電話はiPhoneに自動転送されます。巡回中の緊急連絡などを取り逃がすことがなくなります。

外線自動転送

※ 18時になったら宿直者iPhoneに外線が転送され、朝9時になったら解除されます。

※ 2階一部トイレにセンサーを配置し、立ち上がりを検知します。
※ ※直近居室のナースコールが鳴動します



トイレ立ち上がりを検知



夜間モニター イメージ



グループ

ログアウト 新規設定・設定変更 データ出力 お知らせ

ANTEL アイコン 小表示 並び替え 全項目再取得 通知中一覧

201 203 205 208 211 213 303 306

201 203 205 208 211 213 303 306

317 320 321 401 403 406 407 411 412

413 416 418 421 502 503 505 508 511

※覚醒・浅眠・睡眠アイコンはNEZAMELグレードのみ

101号室 米田ヨネ

2019-02-14 21:40:38 ~ 2019-02-15 21:40:38 詳細設定

72

18

23:28:03 観上

23:05:58 体動

22:21:08 入床

22:09:42 観上

22:02:14 体動

21:43:32 体動

21:12:18 覚醒

36

3

1 200 0 1000 2000 3000 4000 5000 6000 7000 8000 9000 10000

0:00 2:00 4:00 6:00 8:00 10:00 12:00 14:00 16:00 18:00 20:00 22:00

1 日目 2 日目

その他 今後の展望①



新人も
安心！

利用者・
職員の顔
写真名簿



委員会等で
有効活用！

社内アン
ケート



ワーク
フロー
(起案書)
(伺い書)



伺い書や起案書がど
こまで回っているの
か確認できます



現金いらず
精算不要

調理食材
をキャッ
シュレス
で購入

備品を
キャッ
シュレス
で購入

※ 事務・厨房・カフェなど
一部部門より試験運用開始予定

今後の展望



②



エレベーター呼出操作

※今後導入を検討



居室扉解錠操作

※今後導入を検討



※体調不良等で動けない利用者の血圧、バイタル自動測定



※今後対応予定

iPhoneで受信一絆に自動で転記

スタッフ室に戻る必要なし

※今後導入を検討



館内モニタ確認



※今後導入を検討

夜間来客者対応

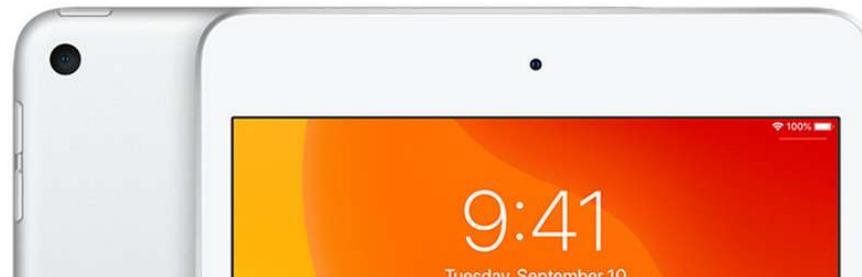


まとめ

本事業により、職員用PHSを全台iPhoneへ移行させることができました。
また、iPhoneと各種センサー及び支援記録システムとの自動連携が実現し、記録作成の迅速化および情報共有の即時性が向上し、大幅な業務効率化と負担軽減につながりました。

また、情報の可視化が進んだことで、業務状況の把握が容易となり、職員育成にも活用できる環境が整いました。

今後は人材不足を踏まえ、中高年職員や外国人労働者を含む多様な人材が円滑に業務に従事できる体制づくりを進め、ICT基盤を活用した持続可能な運営を目指してまいります。



以上



社会福祉法人南風会
令和7年度 ICTプロジェクト